

事例) 確定申告カフェ

目標を達成するまで帰れず、完了すれば飲める 「確定申告カフェ」「経費精算バー」

「確定申告カフェ」「経費精算カフェ」は、領収書や請求書の精算作業が溜まっている人たちが集まり、黙々と作業する場所。高速Wi-Fi、無料のスキャン機材の貸し出し、電源コンセント付きの席、ホットドリンクの飲み放題などの設備が充実しており、最適な環境を提供。季節限定で「確定申告カフェ」として機能し、専門の税理士がいて質問に答えることができるなど、サポート体制も整っている。さらに、六本木のバーで「経費精算バー」も開催される予定。このカフェは、個人事業主や副業をしている人たちに利用されており、インボイス制度の導入など、新しい税制の変更に対応するための情報提供を行っている。利用者は確定申告の目標を達成するまで退店できないといったルールがある。目標達成後はアルコールを飲みながら、店長や客同士で質疑応答など会話を楽しむことができ、確定申告の作成を通して充実した時間を送ることができる。



<https://koenji-sankakuchitai.blog.jp/ExpenseSettlementCafe/>



ポイント

① タスクを設定する場という新コンセプト

確定申告を共にする「タスクを設定する場」という新しいコンセプトを提供。「確定申告カフェ」のルールは、「確定申告」を目的とした人しか入店できない。入店時に店長に「確定申告」の目標を宣言すること。立てた目標に到達するまで退店できない。であり、来店目的の達成を応援する。

② 税理士側とのカジュアルな接点創出

フリーランス、副業の人が、税理士を契約することはハードルが高いが、場を作ることで税理士側とのカジュアルな接点ができ、税理士の継続顧客増にもつながる。